

BODIK/URCセミナー「データドリブン社会の到来」

オープンイノベーションによる公共課題解決手法

2016.2.22

URCフェロー 天野宏欣

1. オープンデータで何を達成するのか？

2. 鯖江で何が起こってきたのか？

3. 世界で何が起こっているのか？

4. 福岡市で何が起きるのか？

1. オープンデータで何を達成するのか？

2. 鯖江で何が起こってきたのか？

3. 世界で何が起こっているのか？

4. 福岡市で何が起きるのか？

“BODIK”がスタートして丸2年過ぎました。

オープンデータが推進されてきた経緯を振り返ってみます・・・

（2014.11.6 BODIK TALK #5 の資料再掲）

オープンデータの政策経緯(EU)

『PSI指令』により、公的機関の情報活用の前提が示された。

フォーマット	- あらゆる既存のフォーマットと言語で利用できるようにすべき。 - 可能な限り電子的に利用できるようにすべき。
課金	- 使用料はある特定の上限を超えてはならない。 - 上限値の計算は、情報を整備する際のコスト、投資に対する正当な報酬に基づく。
透明性	- データのコンディションや使用料は、事前に確定され、公開されていなければならない。 - 求められれば使用料積算の基準や特殊ケースにおける使用料算定要素を提示しなければならない。
ライセンス	- 加盟国は適切なライセンスのもと、データの再利用を許可すべき。 - ライセンスは、再利用の可能性を不必要に制限したり、競争を制限したりするために使用されるべきではない。
フェアトレード	- 再利用に条件を設けて差別をしてはいけない。 - 公的機関自身が情報に付加価値を付けたサービスを提供する場合、対外的な使用料やその他の条件を適用しなければならない。 - 公的機関等による独占的な協定は禁止。(公益上の必要性からサービスを提供しなければならない場合など、例外的な状況においては、独占的な権利が認められる場合がある。)

(出所) Directive 2003/98/EC of the European Parliament and of the Council (17 Nov 2003)

オープンデータの政策経緯(OECD)

OECDの勧告により、EUの動きから世界的な動きへ。ICTの革新も後押し。

開示性	・ 情報整備にかかる費用出所に限らず、最大限アクセス可能で二次利用可能な形で開示すること。 ・ 企業秘密、個人情報、安全保障等の制限根拠を明確にすること。
アクセスと透明性	・ 不必要なアクセス制限・再利用制限を排除すること。 ・ インターネットで電子的形式での取得を可能にすること。
資産リスト	・ どのような公共データがアクセス可能で二次利用可能かをリスト化して周知を強化すること。
品質	・ 関係政府機関の協働で秩序だった情報収集・整理を行い、情報の品質・信頼性を向上させること。
完全性	・ 情報管理を工夫し、最大限に完全性と有効性を確保する。 ・ 違法、故意等の手段により情報が改編されることのないよう情報の適切な保護手段を導入すること。
新技術対応と蓄積	・ アーカイブ、検索、アクセス、多言語対応、デジタル化等新たな技術対応に取り組むこと。 ・ マーケット原理では動きにくい文化分野の公的機関情報デジタル化に取り組むこと。
コピーライト	・ 知的所有権は尊重されるべきである。 ・ 公的機関の情報のコピーライトは幅広い定義が可能であるが、アクセス・再利用が促進される方向で検討されるべき。
課金	・ 有料情報は、料金算出の透明性を確保し、他者との比較から公平性を示す。
競争	・ 公的機関自身が情報に付加価値を付けたサービスを提供する場合、民間部門に対する使用料等を適用するべき。 ・ 公的機関の情報は排他的な条項のない状態でアクセス・再利用が進められるべき。
その他	・ 透明なクレーム訴えプロセスを提供するべき。 ・ 資金調達等でPPP（官民協働）を推進し、情報の再利用を促進するべき。 ・ 国際的なアクセスを推進し、国際連携を促進するべき。 ・ ベスト・プラクティスを共有し、課題に取り組むこと。

オープンデータの政策経緯(US)

オバマ大統領の「オープン・ガバメント」という分かりやすいフレーズで広まる。

□ ”Transparency and Open Government”



- 前例のないレベルの**オープンな政府**となることを約束する。
- 政府は国民から信頼されることに取り組み、**透明で国民が参加し、協働が進むシステム**を確立させる。
- オープンであることが、我が国の**民主主義**をさらに強固なものにし、政府の効率性と有効性を高めることにつながる。

Transparency	- 政府は国民に政府が何をしているかの情報を提供する必要がある。 - 政府機関はその業務や決定内容等の情報を、オンラインで、国民が容易に見つけ利用できる形で、迅速に開示する適切な制度を導入する。
Participation	- 国民参加は政府の実行性を高め、その決定の質を向上させる。 - 知識は広く社会に分散されており、政府はそれら分散された知識へのアクセスを持つことで利益を得られる。 - 政府機関の政策決定に専門家が参加したり、専門家から情報提供を受けたりする機会を整えるべき。
Collaboration	- 米国民と政府のコラボレーションは積極的に行われるべき。 - 政府は革新的なツールやシステムを活用し、政府のあらゆる組織間をはじめ、非営利団体、企業、民間部門や個人との協働をすすめるべき。

具体的なオープンデータの活動

2009年5月に連邦政府のデータポータルサイト「Data.gov」が開設される。



An Official Web Site of the United States Government

Change Text Size

SHARE

DATA.GOV
EMPOWERING PEOPLE

Search Data.gov

SEARCH

Login

HOME ABOUT DATA METRICS OPEN GOVERNMENT BLOGS COMMUNITIES CONTACT US

OPEN DATA FOR AGRICULTURE

G-8 INTERNATIONAL CONFERENCE

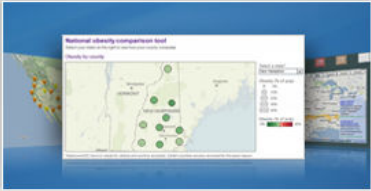
On Open Data for Agriculture

Washington, D.C., April 29-30, 2013

Latest Datasets

- Supplemental Nutrition Assistance...
- Food Access Research Atlas
- Food Dollar Series
- National Water Information System (NWIS)
- Food Price Outlook
- Food Security in the United States
- Price Spreads From Farmer to Consumer
- Quarterly Food At Home Price Database
- Agricultural Trade Multipliers
- Foreign Agricultural Trade of the...

DATA AND TOOLS



- 373,029 [raw](#) and [geospatial](#) datasets
- 1,209 [data tools](#)
- 309 [apps](#)
- 137 [mobile apps](#)
- 171 [agencies and subagencies](#)
- [Suggest a dataset](#)

COMMUNITIES



Come explore, discuss, meet others in the same field, and develop the data and apps in the community that you care about. Join in the discussions by [going to communities](#), some of which are listed below, that interest you.

EDUCATION ENERGY

OPEN GOVERNMENT



View our government at work and find opportunities to participate.

- [Open Government Initiative](#)
- [Open Government Platform](#)
- [Recovery.gov](#)
- [USASpending.gov](#)

具体的なオープンデータの活動

日本は「電子行政オープンデータ戦略」を2012年に策定。

電子行政オープンデータ戦略の概要

「新たな情報通信技術戦略」及び「電子行政推進に関する基本方針」の趣旨に則り、公共データの活用促進に集中的に取り組むための戦略として、電子行政オープンデータ戦略を策定する。

◆ 戦略の意義・目的

- ① 透明性・信頼性向上 → 行政の透明性の向上、行政への国民からの信頼性の向上
- ② 国民参加・官民協働推進 → 創意工夫を活かした公共サービスの迅速かつ効率的な提供、ニーズや価値観の多様化等への対応
- ③ 経済活性化・行政効率化 → 我が国全体の経済活性化、国・地方公共団体の業務効率化、高度化

◆ 基本的な方向性

- 【基本原則】
- ① 政府自ら積極的に公共データを公開すること
 - ② 機械判読可能で二次利用が容易な形式で公開すること
 - ③ 営利目的、非営利目的を問わず活用を促進すること
 - ④ 取組可能な公共データから速やかに公開等の具体的な取組に着手し、成果を確実に蓄積していくこと

◆ 具体的な施策

【平成24年度】以下の施策を速やかに着手

- 1 公共データ活用の推進（公共データの活用について、民間と連携し、実証事業等を実施）《内閣官房、総務省、経済産業省》
 - ① 公共データ活用ニーズの把握 ② データ提供方法等の整理 ③ 民間サービスの開発
- 2 公共データ活用のための環境整備（実証事業等の成果を踏まえつつ、公共データ活用のための環境整備）《内閣官房、関係府省》
 - ① 必要なルール等の整備（著作権の取扱いルール等） ② データカタログの整備 ③ データ形式・構造等の標準化の推進等
 - ④ 提供機関支援等についての検討

【平成25年度以降】ロードマップに基づき、各種施策の継続、展開 《内閣官房、関係府省》

◆ 推進体制等

【推進体制・制度整備】オープンデータを推進するための体制として、速やかに、官民による実務者会議を設置

- ① 公共データ活用のための環境整備等基本的な事項の検討 《内閣官房、総務省、経済産業省、関係府省》
- ② 今後実施すべき施策の検討及びロードマップの策定 ③ 各種施策のレビュー及びフォローアップ

【電子的提供指針】フォローアップの仕組みを導入し、「具体的な施策」の成果やユーザーの要望等を踏まえ、提供する情報の範囲や内容、提供方法を見直し
《内閣官房、総務省》

具体的なオープンデータの活動 日本のオープンデータサイト(www.data.go.jp)も設置。



具体的なオープンデータの活動 福岡市のオープンデータサイト(www.open-governmentdata.org)も設置。



具体的なオープンデータの活動 世界中でオープンデータを使ったコンテストやビジネスが進められる。

新たな価値を生み出す試み
コンテストを行うことで、都市でもあらたなビジネスを生み出そうとしている。

- ワシントンDC “Apps for Democracy”
 - 2008年 期間1か月、賞金2万ドル
 - 2009年 アプリケーション開発以前の課題設定の段階から公募、72時間ハッカソン
- NYC “Big Apps”
 - ニューヨークを訪みたい街、住みたい街、働きやすい街にすること
 - 商業化の可能性が高い知的資産を創造すること



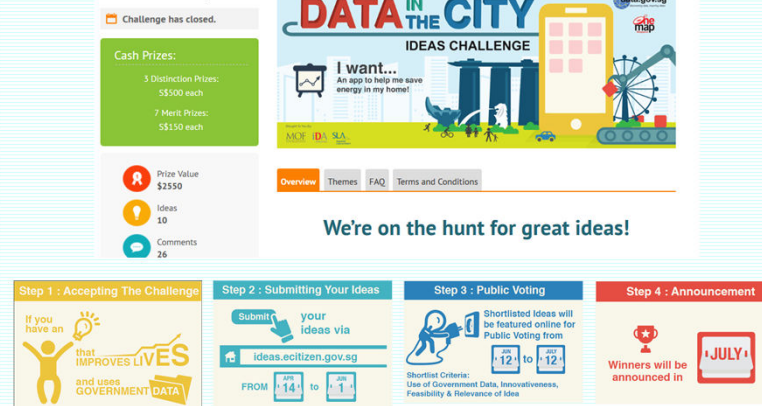
Case2014 – 香港
アプリ開発コンテストも継続。

- 2014年4月のコンテスト表彰



Case2014 – シンガポール
引き続きアイデアチャレンジ。賞金付き！

優秀賞賞金約 ¥45,000



データを新たな価値に変える
国家プロジェクトとして、資金投入を行い起業支援と人材育成。

- Health Data Initiative - 医療データを活用したスタートアップ企業の支援



今日取り上げたいのはデータではない文脈から・・・
大事なことです、繰り返し再掲します。

オープンデータの政策経緯(US)

オバマ大統領の「**オープン・ガバメント**」という分かりやすいフレーズで広まる。

□ "Transparency and Open Government"



- 前例のないレベルの**オープンな政府**となることを約束する。
- 政府は国民から信頼されることに取り組み、**透明で国民が参加し、協働が進むシステム**を確立させる。
- オープンであることが、我が国の**民主主義**をさらに強固なものにし、政府の効率性と有効性を高めることにつながる。

Transparency	- 政府は国民に政府が何をしているかの情報を提供する必要がある。 - 政府機関はその業務や決定内容等の情報を、オンラインで、国民が容易に見つけ利用できる形で、迅速に開示する適切な制度を導入する。
“参加” Participation	- 国民参加は政府の実行性を高め、その決定の質を向上させる。 知識は広く社会に分散されており、政府はそれら分散された知識へのアクセスを持つことで利益を得られる。 - 政府機関の政策決定に専門家が参加したり、専門家から情報提供を受けたりする機会を整えるべき。
“協働” Collaboration	米国民と政府のコラボレーションは積極的に行われるべき。 - 政府は革新的なツールやシステムを活用し、政府のあらゆる組織間をはじめ、非営利団体、企業、民間部門や個人との協働をすすめるべき。

具体的なオープンデータの活動

日本は「電子行政オープンデータ戦略」を2012年に策定。

電子行政オープンデータ戦略の概要

「新たな情報通信技術戦略」及び「電子行政推進に関する基本方針」の趣旨に則り、公共データの活用促進に集中的に取り組むための戦略として、電子行政オープンデータ戦略を策定する。

◆ 戦略の意義・目的

- ① 透明性・信頼性向上 → 行政の透明性の向上、行政への国民からの信頼性の向上
- ② 国民参加・官民協働推進 → 創意工夫を活かした公共サービスの迅速かつ効率的な提供、ニーズや価値観の多様化等への対応
- ③ 経済活性化・行政効率化 → 我が国全体の経済活性化、国・地方公共団体の業務効率化、高度化

“参加” “協働”

- 【基本原則】
- ① 政府自ら積極的に公共データを公開すること
 - ② 機械判読可能で二次利用が容易な形式で公開すること
 - ③ 営利目的、非営利目的を問わず活用を促進すること
 - ④ 取組可能な公共データから速やかに公開等の具体的な取組に着手し、成果を確実に蓄積していくこと

◆ 具体的な施策

【平成24年度】以下の施策を速やかに着手

- 1 公共データ活用の推進（公共データの活用について、民間と連携し、実証事業等を実施）《内閣官房、総務省、経済産業省》
 - ① 公共データ活用ニーズの把握 ② データ提供方法等の整理 ③ 民間サービスの開発
- 2 公共データ活用のための環境整備（実証事業等の成果を踏まえつつ、公共データ活用のための環境整備）《内閣官房、関係府省》
 - ① 必要なルール等の整備（著作権の取扱いルール等） ② データカタログの整備 ③ データ形式・構造等の標準化の推進等
 - ④ 提供機関支援等についての検討

【平成25年度以降】ロードマップに基づき、各種施策の継続、展開 《内閣官房、関係府省》

◆ 推進体制等

【推進体制・制度整備】オープンデータを推進するための体制として、速やかに、官民による実務者会議を設置

- ① 公共データ活用のための環境整備等基本的な事項の検討 《内閣官房、総務省、経済産業省、関係府省》
- ② 今後実施すべき施策の検討及びロードマップの策定 ③ 各種施策のレビュー及びフォローアップ

【電子的提供指針】フォローアップの仕組みを導入し、「具体的な施策」の成果やユーザーの要望等を踏まえ、提供する情報の範囲や内容、提供方法を見直し

《内閣官房、総務省》

（出所）2012年7月4日 IT戦略本部決定

**今日取り上げたいのは、「参加」と「協働」による、
公共課題解決につながるオープンイノベーション。**

1. オープンデータで何を達成するのか？

2. 鯖江で何が起こってきたのか？

3. 世界で何が起こっているのか？

4. 福岡市で何が起きるのか？

約3年前の状況

都市レベルでは福井県鯖江市のオープンデータの取り組みが進んでいた。

<http://citydata.jp/>



全ての市町村

- 北海道
- 東北
- 関東
- 中部
- 関西
- 中国地方
- 四国
- 九州
- 沖縄

CityData あなたの市町村のデータを世界に公開しよう！
市民が参加してつくる公共データの公開サイト

全ての市町村

データセット評価指数ランキング

	総合評価
福井県鯖江市	137
神奈川県横浜市	45
愛知県名古屋市	42
福島県会津若松市	33
千葉県流山市	16
東京都千代田区	13
北海道函館市	10
福井県敦賀市	7
福井県福井市	6
福井県小浜市	6
福井県大野市	6

データセットの投稿サイトは [こちら](#)







(出所) <http://citydata.jp/> (当時)

約3年前の状況 都市レベルでは福井県鯖江市のオープンデータの取り組みが進んでいた。



鯖江市 SABAE CITY
www.city.sabae.fukui.jp/

Google カスタム検索 検索

モバイル ENGLISH RSSについて

HOME 暮らしの情報 部署紹介 施設紹介 入札情報 よくある質問

トップページ 最終更新日: 平成25年2月3日 印刷用ページ

あなたが見たページ

オープンデータ(XML)
情報広報課 情報広報グループ SO-joho@city.sabae.lg.jp
電話番号: 情報広報グループ(情報) 0778-53-2213
情報広報グループ(広報) 0778-53-2203
情報広報グループ(統計) 0778-53-2212

関連するテーマ

インターネット

オープンデータ 一覧

統計情報

人口、気温

施設情報

市内公園等のトイレ情報
災害時の避難所の位置情報
市内のAED情報
避難所、一時避難所等
鯖江市の施設
市営駐車場情報
ツジバスのバス停

観光情報

鯖江百景の位置情報等
さばかん情報
西山動物園の動物

議会関係

議員名簿



鯖江市 SABAE CITY
www.city.sabae.fukui.jp/

Google カスタム検索 検索

モバイル ENGLISH RSSについて

HOME 暮らしの情報 部署紹介 施設紹介 入札情報 よくある質問

トップページ 最終更新日: 平成24年12月7日 印刷用ページ

あなたが見たページ

アプリケーション(オープンデータによる)
情報広報課 情報広報グループ SO-joho@city.sabae.lg.jp
電話番号: 情報広報グループ(情報) 0778-53-2213
情報広報グループ(広報) 0778-53-2203
情報広報グループ(統計) 0778-53-2212

関連するテーマ

インターネット

データ シティ鯖江

鯖江市内トイレ情報、検索、ルート (福野 泰介さん)
さばえ百景の位置、ルート (福野 泰介さん)
避難所、トイレの位置情報 (丹南ケーブルテレビさん)
災害時の避難所の位置、ルート (福野 泰介さん)
AEDの設置施設、位置情報 (福野 泰介さん)
避難所、一時避難場所等の位置、ルート (福野 泰介さん)
wifisabae(市内のwifi状況) 福野 泰介さん
さばえ検定2012 (福野 泰介さん)
鯖江市内トイレ情報 (福野 泰介さん)
鯖江市人口推移グラフ (福野 泰介さん)
地球と鯖江の温暖化調べ (福野 泰介さん)
さばボケ (西川裕貴さん WEBアプリコンテスト優秀賞)
さばえ 巡る〜れっと (Fukui Food Fun 代表 熊本豊さん WEBアプリコンテスト特別賞)
福井行政サイトリスト (福野 泰介さん)
さばえカード (鯖江百景 福野泰介さん)
議会一般質問 (福野 泰介さん)
鯖江観光情報で神経衰弱 (福野 泰介さん)

更に前から鯖江市は参加と協働に力を入れていた 2010年に鯖江市「市民主役条例」を制定。

- 第8条(ボランティア、市民活動)
市民は、まちづくりの主役として光り輝きながら、**さまざまな地域課題に対応するボランティアや市民活動に積極的に参加する**よう努めます。
- 第9条(情報の集約、発信)
わたしたちは、市民主役のまちづくり施策を効果的に進めるため、ふるさと産業、地域づくり、ボランティア、市民活動等**それぞれの分野で情報を集約し、広く発信していくための仕組みづくり**や拠点づくりに努めます。
- 第10条(市民と行政の情報共有)
市は、**積極的な情報公開や情報提供の運用を進めるとともに**、パブリックコメント、審議会、タウンミーティング、ワークショップ等を通じ、市民との間で情報の共有化、活用を図るよう努めます。
- 第11条(市民参画)
わたしたちは、**市民自らが誇りややりがいを持って、市政や地域経営に直接携わることができるような仕組みづくりを進めること**で、まちづくりの計画からその実施、評価までの各段階に応じ、継続した市民参画を実現するよう努めます。

更に前から鯖江市は参加と協働に力を入れていた 8年実施してきた鯖江市地域活性化プランコンテスト。

- 全国の学生チームによる2泊3日の提案コンテスト(実行委員長も大学生)



The screenshot shows the homepage of the Sabae City Regional Revitalization Plan Contest website. The browser address bar displays <https://sabae-plancontest.jp>. The website has a red header with navigation links: ホーム (Home), 初めての方へ (For first-time visitors), 例年の様子 (Annual activities), 参加者の声 (Voices of participants), スポンサー (Sponsors), and 参加申し込み (Registration). The main banner features a smiling young woman and the text "市長をやりませんか?" (Would you like to be the Mayor of Sabae City?) with the English translation "- Be a Mayor of Sabae City -". Below the banner is a row of small images showing various community activities. At the bottom, a red banner announces the 8th contest with details: "第8回鯖江市地域活性化プランコンテスト観覧者募集!" (8th Sabae City Regional Revitalization Plan Contest Observer Recruitment!), "2015年9月14日:予選14時~16時30分 決勝18時~20時/場所:本山誠照寺" (September 14, 2015: Preliminary 14:00~16:30, Final 18:00~20:00 / Venue: Honjin Makinoji Temple), and a yellow button labeled "コンテスト詳細" (Contest Details).

鯖江市は参加と協働に力を入れてきている 若者の「参加」、若者との「協働」の延長に生まれた“鯖江市JK課”。

- アプリ開発やスイーツ商品企画など、地元企業・団体と連携した活動。



The screenshot shows the official website of the Sabae City JK Section. The header includes the Sabae City logo and the text "鯖江市役所JK課 Sabae City Office JK section". The main content area features a collage of photos showing high school girls engaged in various activities, including making sweets, participating in a graduation ceremony, and interacting with police officers. A large pink circular graphic on the right side of the main content area contains the text "活動報告Blog はコチラ" (Activity Report Blog is here) and "サポートスタッフが活動内容などを報告します" (Support staff will report on the activities). Below the main content area, there are sections for "about JK課とは?" (About JK Section) and a Twitter feed for the official account @sabae_jk.

(出所) <http://sabae-jk.jp/>

鯖江市は参加と協働に力を入れてきている “おとな”とも「参加」、「協働」を進める工夫がなされてきた。

- 地元鯖江人が全国からの多種多様な人材と組んで地域活性化策を考える。



(出所) https://peraichi.com/landing_pages/view/sabae

鯖江市は参加と協働に力を入れてきている

“おとな”は自らの提案をするのではなく、「お題」に対するプランの提案。

□ 第3回おとな版鯖江市地域活性化プランコンテストのお題

■ 4名の「鯖江コーディネーター」が自身が携わる事業や政策の悩み・課題を提示。

お題	現状と課題	目指すもの
高齢者の不便を解消できる“まちなか”づくり	高齢者にとってまちなかの小さな個人商店がどんどん減っている。行動が制約されているため大きなショッピングセンターに出かけられない。地元の商店街・町内会・若者の力でサポートできないか？	高齢による暮らしの不便をまちぐるみで解消できる、新しい形の仕組みづくり。
子どもたちの笑顔があふれる中心市街地再開発	古町商店街の再開発ビルの建設計画に、コンパクトシティ推進のための行政サービス機能、育児支援・子育て支援・就業支援・高齢者支援機能、居住施、医療、商業施設等の複合施設を目指せないか？	中心市街地を子供のいる若い世代の家庭に居住してもらうこと。
眼鏡の聖地としての鯖江ブランディング	実際に鯖江に来ても、メガネ、メガネ職人、メガネを作っている現場に触れることができない。モニュメントも部品も記念品も宿泊もメガネに関係がない。	過去から蓄積された資源を活用して、鯖江をメガネのテーマパークにする。
鯖江が世界に誇る伝統工芸の再生	日本全体で伝統工芸の伝承者が減っている。日本のものづくりを継続させていく方法を考えられないか。	伝統的な技術を正しく継承し、正しい価値で売っていく。

鯖江市は参加と協働に力を入れてきている 公共データの活用にとどまらず、政策のプロセスや実行段階への関わりへ。

- 「オープンガバメントサミット2015in鯖江」の開催概要から：
 鯖江市が目指す市民主役、市民協働のまちづくりの基盤はオープンガバメントです。
 インターネット、WEBは市民と行政の距離を縮め、積極的な市民協働は時代の閉塞感の打破、あらゆる社会課題の解決につながってきます。
 この社会を実現するには、公共データの活用に限らず政策の決定プロセスや実行段階でも市民が積極的にかかわり、さまざまなアイデアや工夫を凝らしながら社会の課題に取り組んでいくことが必要です。



1. オープンデータで何を達成するのか？

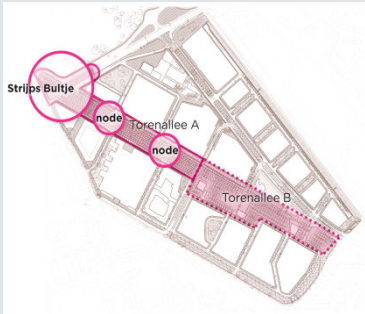
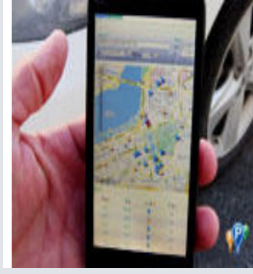
2. 鯖江で何が起こってきたのか？

3. 世界で何が起こっているのか？

4. 福岡市で何が起きるのか？

海外事例

LLGA(現Citymart.com)で実施された都市の課題解決のコンテスト(2010-14)

都市	アイントホーフェン	サンフランシスコ	台北	ストックホルム
テーマ・課題	効率的な街路照明	市民との情報共有	医療システム	渋滞・駐禁課題解決
ソリューション(競技により選出された優勝提案)	- 街の合流点(node)に機能的、持続可能な且つお洒落な照明を導入。 - 街全体の交流を強化する仕組みも導入。 	- 情報の共有化や透明化を図る複数のチャネルを提供 - セルフサービスモードで市民への質問回答を最適化 	- 患者の健康データを管理するモニタリングシステム。 - 病歴データを医者、患者、家族と共有する - 常に患者の健康状態を記録、更新する。 	- 駐車スポットの一時的な貸し出しコミュニティサービス - 予め予約することで一時的に空き地を貸し出しすることができる。 - リアルタイムで更新 
導入結果(実証実験段階)	- 従来比で4割の施設で、3割の光害減少とエネルギー節約が期待できる。 - 街に革新的かつ機能的なサービスを提供している。	- 情報の重複と無駄な管理作業を減らす。 - コールセンター経費の削減 - 市民の情報アクセス容易化	- 重複問診を省き、効率よい治療を行う。 - 患者自身で健康状態を把握し、自宅でも医者とビデオアポイントメントがとれる。	- 街の交通課題の解決 - 情報提供には金銭的報酬が払われる - 快適な外出が可能

海外事例

LLGA2013で福岡地域戦略推進協議会も福岡賞を創設し、選考。

- 優勝ソリューションであるMICEアプリは、米Guidebook社による提案。

福岡賞の選考ポイント

- ① 多言語対応である
 - ② Fukuokaで想定できるコンベンションの主流規模に適している
 - ③ 来街者がアフターコンベンションを楽しむ為に必要な情報を提供できるプラットフォームがあり、街へのインパクトがある。
- スマートモビリティアジア2013@福岡で実証実験を実施。



海外事例

昨年のバルセロナ市のBarcelona Open Challenge : Citymart.comの運営

□ 6つのテーマ設定

1. 都市の自転車盗難を防止する
2. 社会孤立を減らすサポートシステムを作る
3. 都市内の歩行者交通量を把握する
4. 博物館のコレクションを電子アーカイブする
5. 道路の破損を自動的に発見し警告する
6. 技術を用いて地域の商業を活性化する

Reducing bicycle thefts in the city



To encourage more bicycle use in the city, Barcelona is looking for a bike parking system that enhances the security of private cycles.

Tools for digitisation of museum and archive collections



Digitisation of Barcelona's rich archives of books, manuscripts, photographs and other documents will enable this unique record of Catalan culture to be better shared with citizens.

Empowering support systems to reduce social isolation



Barcelona is looking to support families and healthcare professionals in the care of senior citizens to reduce isolation and loneliness.

Automatic detection and alerts of damaged road surfaces



Responsive, efficient road-surface management is essential for ensuring a citizen- and commerce-friendly city.

Monitoring pedestrian flows in the city



Real-time data on people distribution throughout the city enhances the management of Barcelona's public spaces.

Empowering local retail through technology



Improving the competitiveness of small local retail businesses by increasing their online visibility.

□ 競技の段階を通じて絞り込む

- アイデア募集
 - 初期要件により50アイデアへの絞り込み
 - 二段階目の要件で15アイデアへ絞り込み
- ソリューション募集
 - 最大5つのソリューションに絞り込み
- 交渉
 - 優勝者の決定

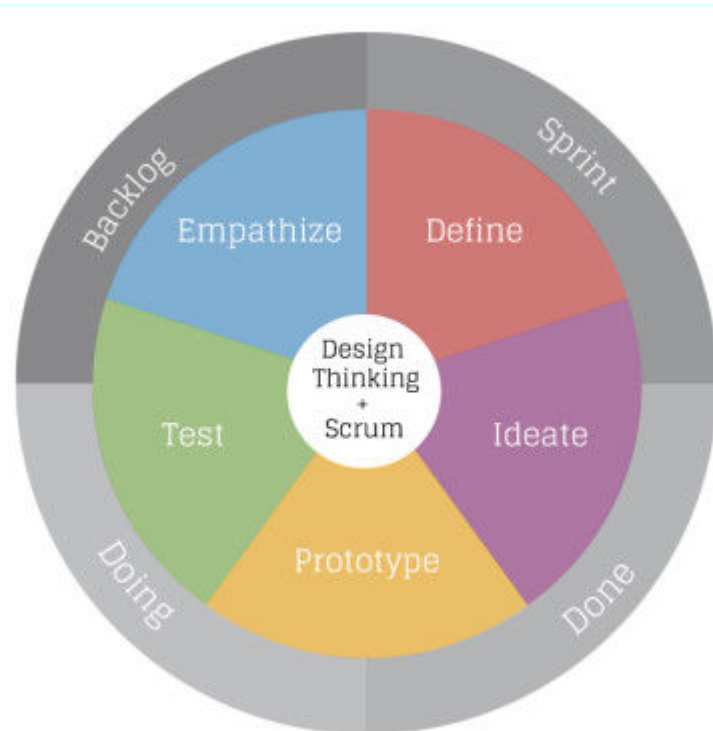
REQUEST FOR IDEAS (Anonymous)			NEGOTIATED PROCEDURE
Phase 1 Call for Ideas		Phase 2 Call for solutions	Phase 3 Table of negotiation
Sub-phase 1 Evaluation criteria: five objective technical	Sub-phase 2 Evaluation criteria: subjective technical criteria	Tender Jury Evaluation criteria: subjective technical criteria	From max. 5 proposals to winners
From n to 50 proposals	From 50 to 15 proposals	From 15 to max. 5 proposals	
During the Request for Ideas max. 5 proposals will be selected for each Challenge. These proposals will be chosen through three eliminatory stages of evaluation: Phase 1 is constituted by two sub-phases. In sub-phase 1, based on objective technical criteria, a maximum of 50 proposals are selected. In Sub-phase 2 are chosen the 15 pre-finalists. In Phase 2, the max 5 finalists that will enter the Negotiated Procedure are chosen based on subjective technical criteria. To participate you will need to submit four envelopes with specific documentation in each one of them: Paper submission (envelopes 1, 2, 3 & 4) will be sent to BSM and the online submission (envelopes 2 & 3) will be done on Citymart.com.			During the Negotiation Process, max. 5 finalists for each challenge will be asked additional information about their proposed solution. The budget – between 60.000€ and 250.000€ – for each Challenge will be established at this stage. The winner will be chosen after the negotiated procedure between the city and each finalist company.

海外事例

ストックホルムのOpenLab : 都市圏の課題解決

- 「オープンラボ (Openlab)」は、ストックホルム市と大学・研究機関などが共同で設立したクリエイティブ・センター。
- スtockホルム圏の高齢者ケア、交通インフラ問題、教育、持続可能な都市づくりなどに対するイノベーティブな課題解決策を提案。

オープンイノベーションを進めるステップ



Empathize (共感フェーズ)

- 具体的なニーズ、活動動機、実態を知ること、課題を発見し、巻き込むべき人材を特定する。

Define (定義フェーズ)

- ニーズを具体的(感情の捉えかた、考え方、行動様式)に定義する。

Ideate (想像フェーズ)

- ニーズを持つユーザーや様々な主体を巻き込んで、アイデア・解決策を導き出す。

Prototype (プロトタイプフェーズ)

- アイデアのコンセプトを具体化し、簡単な試作品や試作サービスをつくりだす。

Test (テストフェーズ)

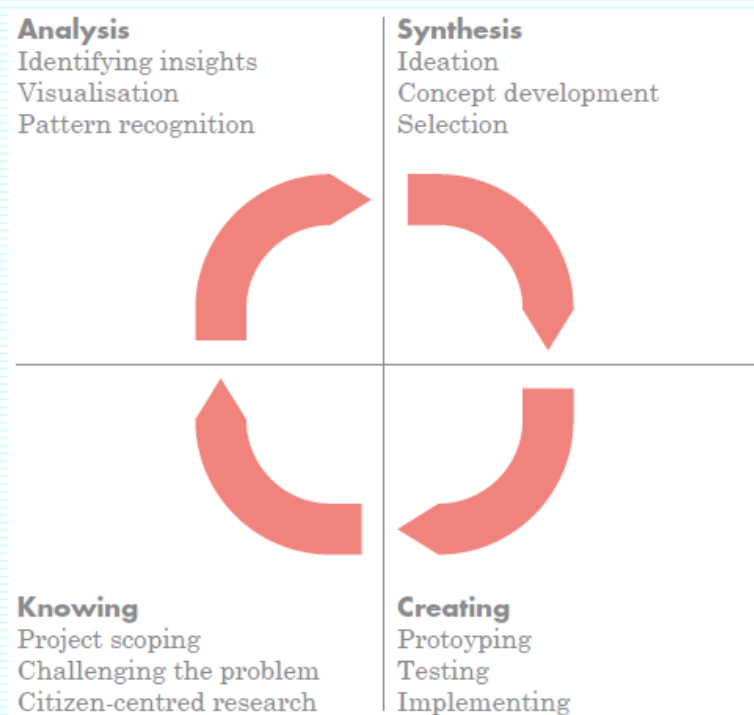
- ニーズを持つユーザーに具体的にテストしてもらう。

海外事例

デンマーク政府のMindLab : 国の課題解決

- デンマークの経済ビジネス省、子供・教育省、雇用省が共同で設立したシンク&ドゥタンク。
- デンマーク国内の複雑な社会課題を解決するために、公務員に参加型デザインの価値を理解してもらうために創設された組織であるが、管轄外の省庁の課題も解決する存在になっている。

オープンイノベーションを進めるステップ



Knowing（理解フェーズ）

- ・ 省庁や政府機関・企業の依頼に応じてエンドユーザーの調査や課題の明確化を進める。

Analysis（分析フェーズ）

- ・ 課題を多面的に捉え、わかりやすく整理する。

Synthesis（総括フェーズ）

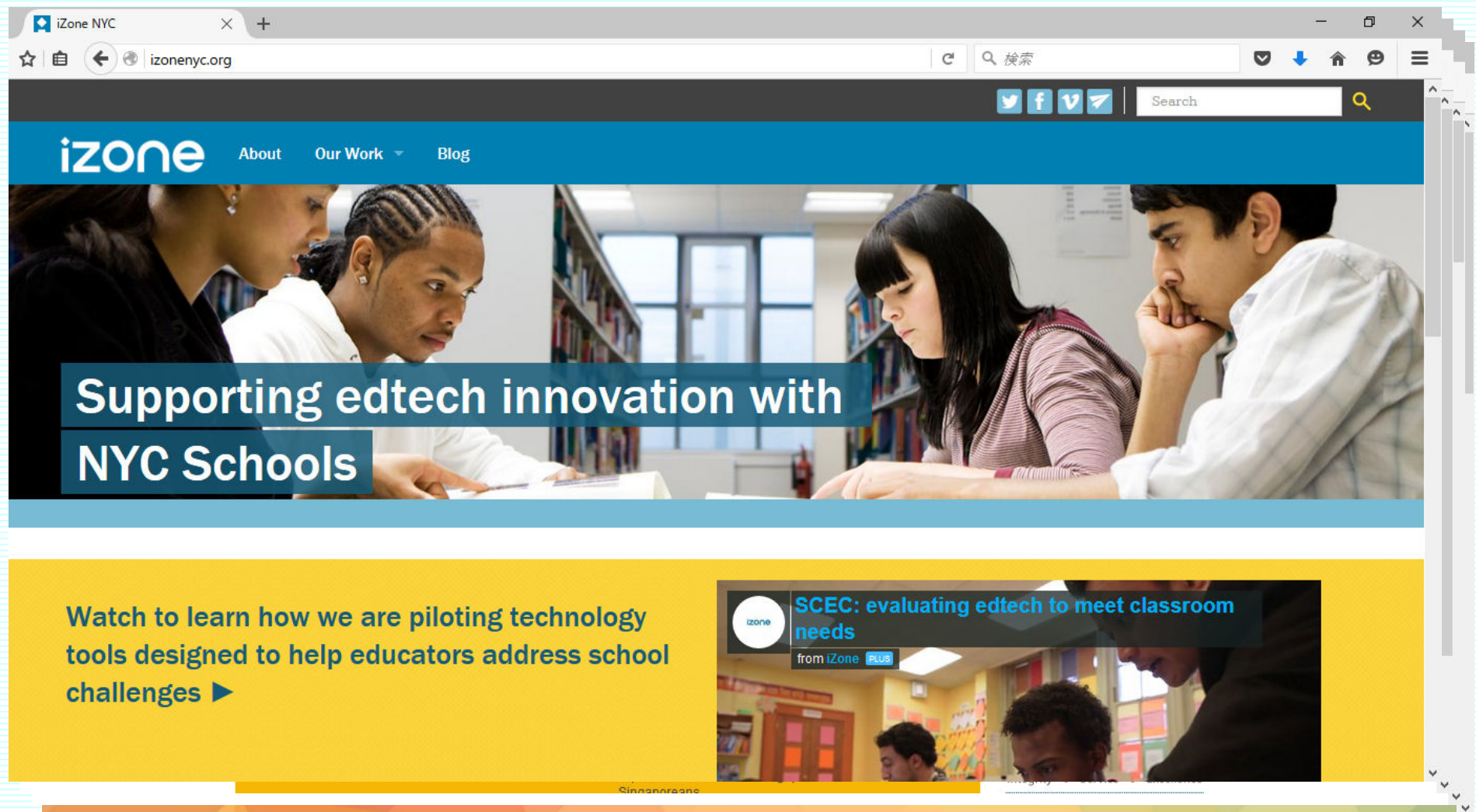
- ・ 調査結果をもとに、専門家や自治体等へのインタビューを行いながら解決策を考える。

Creating（創造フェーズ）

- ・ プロトタイプやデザインづくりなど、市民等関係者を巻き込んで進める。

海外事例

NYC、シンガポール、オーストラリア、南アフリカ...



The screenshot shows the iZone NYC website in a browser. The browser's address bar displays 'izonenyc.org'. The website's header features the 'iZone' logo and navigation links for 'About', 'Our Work', and 'Blog'. A search bar is located on the right side of the header. The main banner image shows four students in a library setting, with the text 'Supporting edtech innovation with NYC Schools' overlaid. Below the banner, there is a yellow section with the text 'Watch to learn how we are piloting technology tools designed to help educators address school challenges' and a video thumbnail titled 'SCEC: evaluating edtech to meet classroom needs' from iZone.

なぜ政府・自治体もオープンイノベーションなのか？ 組織にかかる制約からの理由と、社会環境の変化から。

- 企業がオープンイノベーションを取り入れる理由と同じ
 - 研究開発(成果の創出)に**許される開発期間**が年々短縮される傾向にある
 - **投入できるリソース**(人員・予算・サプライヤー・パートナー)も限定されている
 - 内部のリソースで**できることと、達成すべき成果のギャップ**が広がっている
 - ギャップを埋めるため、外部の知見を活用せざるをえない

- 社会環境の変化
 - グローバル化の進展やICT技術の進展などにより、**地域を取り巻く情勢**は日々刻々と変化しており、変化のスピードが速くなっている。
 - 社会が成熟化し、人々の関心が「もの」を持つことから「サービス」や「デザイン」に移行するなど、**人々のニーズが多様化**している。
 - 知識基盤社会の進展により、知識・情報の量が加速度的に増加している。グローバル化の進展、企業を取り巻く経済状況の変化等とあいまって、イノベーション創出に**必要な知識や技術の全てを単独の組織で備えることが困難**になってきている。

(出所) 科学技術・学術審議会総合政策特別委員会資料より抽出

1. オープンデータで何を達成するのか？

2. 鯖江で何が起こってきたのか？

3. 世界で何が起こっているのか？

4. 福岡市で何が起きるのか？

福岡市でもオープンイノベーションによる公共課題解決 行政課題の解決にオープンなアイデアを導入する手法を試行。

FUKUOKA NEXT

このまちを次のステージへと
飛躍させるチャレンジ

～平成27年度当初予算案の概要～

平成27年2月13日
福岡市財政局



新しいものやサービスが生まれる街

☆水素リーダー都市プロジェクト【23,540】（経観文）

下水バイオガスによる世界初の水素ステーションを核とした先進的なプロジェクトへのチャレンジや燃料電池自動車(FCV)の導入推進等による産業化の促進

★行政課題の解決に向けたイノベーション提案の仕組みづくり【5,000】（総企） 行政課題の解決に民間企業等のアイデアを導入する手法の検討

☆トライアル発注認定事業【3,474】（経観文）

地場中小企業が開発した優れた新商品やサービスを福岡市が認定し、積極的にPRするとともに、出展支援や庁内利用の推進等により、販路開拓を支援

★二枚貝完全養殖チャレンジ事業【7,200】（農水）

”砂ゼロアサリ”の完全養殖に向けた陸上での試験養殖をスタートし、新たな輸出戦略商品を開発するとともに、アサリ種苗の供給を目的とした調査研究

・イノベーション創出支援事業【33,900】（総企）

福岡の多様な人材と域内外の企業が共に新規ビジネスを創出するプロジェクトを支援

福岡市でもオープンイノベーションによる公共課題解決 「イノベーションスタジオ福岡」との連携で実施する。

【STEP1】 リサーチ＆ワークショップ（平成28年1月～3月）

- 行政課題について、市民や事業者が自由に意見交換。2回のワークショップとその間のリサーチを通して、行政課題解決の糸口を発掘します。

【STEP2】 事業アイデアコンテスト（平成28年4月～5月）

- STEP1の結果を参考に公募テーマを設定し、行政課題解決の事業アイデアを広く市民・事業者から募ります。

【STEP3】 新規事業検討（平成28年7月～9月）

- 事業アイデア公募によって得られた優秀な事業アイデアをベースに、行政課題解決に繋がる新規事業を検討します。

【STEP4】 事業実施（平成29年4月～）

- 新規事業の実施事業者を公募にて選定し、事業を実施します。

イノベーションスタジオ福岡とは・・・

デザイナーやクリエイター、NPO、学生、近隣住民などの多様な市民と企業等がともに、生活者の視点から、新しい未来を創造するようなビジネスの創出（市民発イノベーション）に取り組むプロジェクトであり、ワークショップやフィールドワーク等で構成されたプログラムを実施している。

福岡市でもオープンイノベーションによる公共課題解決 「イノベーションスタジオ福岡」との連携で実施中。



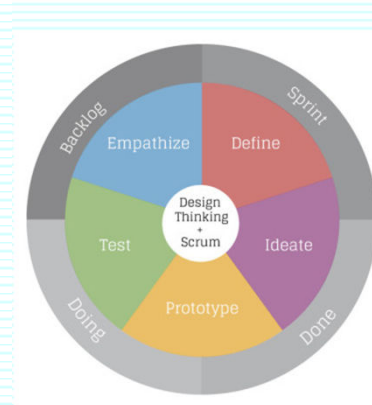
福岡市でもオープンイノベーションによる公共課題解決 今回の“お題”は、「モラルマナーの向上」と「家庭ごみの3Rの推進」。

- リサーチ＆ワークショップが先月から始まった。



まとめにかえて — 情報、参加、協働がオープンイノベーションに不可欠

□ 共感・定義・理解・分析に必要な情報 = オープンデータ／オープンガバメント



オープンイノベーションを進めるステップ

Empathize（共感フェーズ）

- 具体的なニーズ、活動動機、実態を知ること、課題を発見し、巻き込むべき人材を特定する。

Define（定義フェーズ）

- ニーズを具体的（感情の捉えかた、考え方、行動様式）に定義する。

Ideate（想像フェーズ）

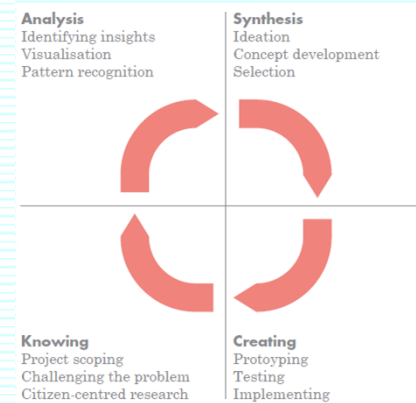
- ニーズを持つユーザーや様々な主体を巻き込んで、アイデア・解決策を導き出す。

Prototype（プロトタイプフェーズ）

- アイデアのコンセプトを具体化し、簡単な試作品や試作サービスをつくりだす。

Test（テストフェーズ）

- ニーズを持つユーザーに具体的にテストしてもらう。



オープンイノベーションを進めるステップ

Knowing（理解フェーズ）

- 省庁や政府機関・企業の依頼に応じてエンドユーザーの調査や課題の明確化を進める。

Analysis（分析フェーズ）

- 課題を多面的に捉え、わかりやすく整理する。

Synthesis（総括フェーズ）

- 調査結果をもとに、専門家や自治体等へのインタビューを行いながら解決策を考える。

Creating（創造フェーズ）

- プロトタイプやデザインづくりなど、市民等関係者を巻き込んで進める。

□ 想像＆創造に必要なリソース = 参加／協働

“公共データの活用に限らず政策の決定プロセスや実行段階でも市民が積極的にかかわり、さまざまなアイデアや工夫を凝らしながら社会の課題に取り組んでいくこと”